

# 【社会資本総合整備計画】

## 大網東地区 都市再生整備計画 事後評価シート

平成26年12月  
千葉県大網白里市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	大網白里市	地区名	大網東地区			面積	64ha			
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成26年	交付対象事業費(百万円)	233	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業	道路(歩行者専用道路整備事業、市道1-0139、1-0141号線改築事業、市道1-0140号線改築事業)、公園(大網東公園整備事業)										
	提案事業	地域創造支援事業(両総用水大網支線中化事業)										
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-									
	新たに追加した事業	提案事業	-									
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	狭隘道路の改善	%	50.9	H20	43.5	H25	モニタリング	43.5	○	あり ● 道路改築事業による生活道路の環境改善や緊急車両の通行が可能になったこと、歩行者専用道路整備による通学路の確保、で地区内の安全性が高まった。	なし
	指標2	公園利用の満足度	%	13.0	H20	20.0	H23	50	○	あり ● 公園の整備によって身近で安全な子供たちの遊び場やコミュニティの場の不足を改善し、地域住民の居住環境向上に寄与した。	なし	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	-											
4) 定性的な効果発現状況	<p>・従前の「大網東公園アンケート」で、「新しく造る公園はどのような公園がいいか」という設問に対して、「木や花が多い公園」、「大きい広場がある公園」、「遊具で子どもが楽しく遊べる公園」の要望が多かったのに対し、整備後、大網東公園を利用している人を対象とした設問(「大網東公園」はどのような公園ですか)では、「大きい広場があり利用しやすい公園」、「遊具で子どもが楽しく遊べる公園」と評価する回答が複数あり、効果発現がみられた。</p> <p>・公園で遊んだり、自然による潤いを感じることで、生活環境が向上したという声もあり、効果発現がみられた。</p> <p>・事業を行うことによって、大網東小学校と地域の方との結びつきが強くなった。見守りボランティアなどの活動が活発になってありがたいという声もあった。</p>											
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	持続的なまちづくり体制の構築	・公園管理業務委託 仏島地区自治会に公園内の低木・生垣の剪定、植樹帯等の除草、砂場・水飲み場・公園内の清掃を委託した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も継続した業務委託により活動を支援する					

様式2-2 地区の概要

大網東地区(千葉県大網白里市) 都市再生整備計画の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：安全性・快適性の高い市街地形成により、住みよいまちづくりをめざす。 目標1：安全な区画道路整備による快適なまちづくりを推進する。 目標2：街区公園整備により休息や遊びの場を提供するとともに緑を確保し、生活環境の改善を図る。		狭隘道路の改善	%	50.9	H20	43.5	H25	43.5	H25
		公園利用の満足度	%	13.0	H20	20.0	H23	50.0	H23
		-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者専用道路や市道の拡幅により、通学路や地域住民の生活道路として安全性の向上を図ることができた。</li> <li>公園整備により、子供を遊ばせる場所や地域住民の憩いやコミュニティ活動の場を設けることができた。</li> <li>公園は、親子連れの利用が多いにもかかわらず、喫煙や犬のふん放置などマナーが悪い利用者がいるため、地域で公園清掃等を行っているが、毎日掃除をしなければならない状況にある。</li> </ul>								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路や生活道路の安全性の向上</li> <li>公園の維持管理や住民が集える賑わいづくり</li> <li>地区に残された狭隘道路の改善</li> <li>公園利用にあたってのマナー向上のため、注意喚起看板を設置</li> </ul>								

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価懇話会の確認

- 添付様式8 評価懇話会の確認

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業							(百万円)		
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	歩行者専用道路整備事業	3	L=185m	9	W=2.9m、L=151m	事業計画の変更による事業費の増額	影響なし	●	
道路	市道1-0139号線、1-0141号線 改築事業	24	L=385m	55	W=6.75m、L=399m	事業計画の変更による事業費の増額	影響なし	●	
道路	市道1-0140号線 改築事業	23	L=100m	25	W=9.25m、L=100m	事業計画の変更による事業費の増額	影響なし	●	
公園	大網東公園整備事業	96	A=1,927㎡	88	A=1,927㎡	事業計画の変更による事業費の減額	影響なし	●	
古都及び緑地保全事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)	目標達成度※2	1年以内の達成見込みの有無	
				基準年度		基準年度		目標年度			あり	なし
指標1	狭隘道路の改善	% ・大網東地区内の市街化区域における25市道の総延長の内、「幅員4m以下」の延長が占める割合を求めて従前値とした。 ・評価値は、従前値と同様の方法により把握し、25市道の総延長の内、整備後に「幅員4m以下」の延長が占める割合を求めた。 ・当指標に関する事業はすべて完了していることから、得られる評価値を確定値とする。	-	-	50.9	H20	43.5	H25	モニタリング	○	○	あり
									事後評価	確定 ●	43.5	
指標2	公園利用の満足度	% ・従前値は、地域住民(小学校就学前から70歳以上の男女)が対象の平成21年1月に実施した「大網東公園アンケート」の数値を用いた。 ・設問「町内の公園に満足しているか」に対する「満足している人」の割合を求め、満足度とした。 ・評価値は、大網東公園の整備後(平成24年2月)、従前値と同様の手法で値を求めた。 ・当指標に関する事業はすべて完了していることから、得られる評価値を確定値とする。	-	-	13.0	H20	20.0	H23	モニタリング	○	○	あり
									事後評価	確定 ●	50.0	
指標3	-	-	-	-	-	-	-	-	モニタリング	○	○	あり
									事後評価	見込み		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	確実に事業を実施し、目標値を達成したため	
指標2	大網東公園の開設により満足度が向上し、目標値を達成したため	
指標3		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。  
 ※2 目標達成度の記入方法  
 ○: 評価値が目標値を上回った場合  
 △: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・従前の「大網東公園アンケート」で、「新しく造る公園はどのような公園がいいか」という設問に対して、「木や花が多い公園」、「大きい広場がある公園」、「遊具で子どもが楽しく遊べる公園」の要望が多かったのに対し、整備後、大網東公園を利用している人を対象とした設問(「大網東公園」はどのような公園ですか)では、「大きい広場があり利用しやすい公園」、「遊具で子どもが楽しく遊べる公園」と評価する回答が複数あり、効果発現がみられた。  
 ・公園で遊んだり、自然による潤いを感じることで、生活環境が向上したという声もあり、効果発現がみられた。  
 ・事業を行うことによって、大網東小学校と地域の方との結びつきが強くなった。見守りボランティアなどの活動が活発になってありがたいという声もあった。



## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
・公園管理業務委託 仏島地区自治会に公園内の低木・生垣の 剪定、植樹帯等の除草、砂場・水飲み場・ 公園内の清掃を委託した。	予定どおり実施した	[実施頻度] ・日曜を除く毎日(ゴミ拾い・清掃) (3~4名参加) ・月2回程度(草取り、排水路等清掃) (老人会、各班代表、有志、子ども会 による約20~30名が参加) [実施時期] ・通年 [実施結果] ・持続的な休息や遊びの場を提供す るとともに、良好な生活環境の維持に 貢献している。	仏島地区自治会	今後も継続した業務委託により活動を支援 する
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価庁内意見照会	全課	平成26年10月2日 ~ 10月9日	都市整備課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3			
指標名		狭隘道路の改善		公園利用の満足度		-			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(歩行者専用道路整備事業)	◎	道路改築事業による生活道路の環境改善や緊急車両の通行が可能になったこと、歩行者専用道路整備による通学路の確保、で地区内の安全性が高まった。	-	公園の整備によって身近で安全な子供たちの遊び場やコミュニティの場の不足を改善し、地域住民の居住環境向上に寄与した。	-		-	
	道路(市道1-0139号線、1-0141号線 改築事業)	◎		○					
	道路(市道1-0140号線 改築事業)	◎		-					
	公園(大網東公園整備事業)	-		◎					
提案事業	地域創造支援事業(両総用水大網支線地中化事業)	◎		○					
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	残された道路について地元の調整を図りながら、整備推進していく。	公園の良好な維持管理を図るとともに、イベント開催など地域のにぎわいの場としても活用していく。		
-------	---------------------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価庁内意見照会	全課	平成26年10月2日 ~ 10月9日	都市整備課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
新たに市街化区域に編入した 地区の道路が未整備であり、 通学路になっていることから、 児童が安全に通学できる道路 の整備が急務である。	歩行者専用道路の整備や市道の拡幅により、通学路や 地域住民の生活道路として安全性の向上を図ることがで きた。	地区内に残された狭隘道路の拡幅	公園は、親子連れの利用が多いにもかかわらず、喫煙や犬の ふん放置など、マナーが悪い利用者がいる。 地域で公園清掃等を行っているが、毎日掃除をしなければなら ない状況にある。
地区内で安全に子供を遊ばせ る場所や地域住民の憩いやコ ミュニティ活動の場がない。	公園整備により、身近に子供を遊ばせる場所や地域住 民の憩いやコミュニティ活動の場ができた。	なし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	通学路や生活道路の安全性の向上	地域住民が安全に通行できるよう、道路の見守りなどソフト面で支援していく。	・道路の安全誘導や清掃など、見守りボランティアの活動支援
	公園の維持管理や住民が集える賑わいづくり	子供の遊び場、地域住民の憩いやコミュニティ活動の場として、安全・安心に活用できるようソフト面で支援していく。	・住民主体の公園維持管理組織の立ち上げ支援 ・催しやイベント実施支援

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	地区に残された狭隘道路の改善	地元と調整しながら、整備を推進する。	・道路改築事業
	公園利用にあたってのマナー向上	看板の設置等による注意喚起を行う。	・注意喚起看板の設置

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input checked="" type="checkbox"/>	まちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

**添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方**

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・住民の方の満足度を明確な数値目標にしたため、住民にとって成果の達成がわかりやすい。	・アンケート設計では、質問項目を明確にし、回答者にわかりやすく伝えるよう努める。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・従前に地域住民を対象とした公園アンケートを実施したことで、住民の意向を早い段階で把握することができ、整備計画につなげることができた。	・公園整備等では、アンケートやワークショップ手法を用いるなど住民の関わり方について工夫するよう努める。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		・長期に亘る事業については、関係者（地域住民、小学校等）への定期的かつ丁寧な説明と周知が必要。
	うまくいかなかった点	計画当初に関係者への説明を行ったが、その後関係者の交代により、事業内容を知らない方が出てきてしまった。	

**添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)**

・今後の都市再生整備計画事業の活用予定  
なし

・事後評価を予定している地区  
大網駅東地区

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成26年10月17日～10月31日	平成26年10月17日～10月31日	担当課への窓口受付、 電話、FAX、メール	都市整備課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページ及び 担当課窓口で原案を公表して いる旨を掲載	平成26年10月1日発行 広報	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	窓口閲覧(都市整備課)	平成26年10月17日～10月31日	平成26年10月17日～10月31日		

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

(6) 評価懇話会の確認

添付様式8 評価懇話会の確認

委員構成		実施時期	担当部署	懇話会の設置根拠	懇話会の母体組織
学識経験のある委員	伊藤 辰彦(大網白里市都市計画審議会会長)	平成26年11月25日	都市整備課	大網白里市社会資本整備総合交付金評価懇話会設置要領	独自に設置
	蔭山 秀男(仏島地区 区長) 山野辺 昌浩(元大網東小学校PTA会長)				

確認事項※1		懇話会の意見
事後評価手続き等にかかる確認	方法書	理解を得、特に意見なし。
	成果の評価について	数値目標の達成状況について理解を得た。定性的な効果として、“事業を行うことによって、大網東小学校と地域の方との結びつきが強くなった。”、“見守りボランティアなどの活動が活発になってありがたい。”との意見があった。
	実施過程について	理解を得、特に意見なし。
	効果発現要因の整理	理解を得、特に意見なし。
	事後評価原案の公表について	理解を得、特に意見なし。
	その他	特に意見なし。
	事後評価の手続きの進め方について、懇話会の確認	事後評価の手続きは、妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて確認	今後のまちづくり方策の作成	新たな課題として、公園利用に関する以下の意見があった。“たばこや犬のふんなど、マナーが悪い利用者がいる。親子連れの利用が多いのもかかわらず、毎日掃除をしなければならない状況になった。”これらについては看板の設置等による注意喚起が有効との意見があった。
	フォローアップ	理解を得、特に意見なし。
	その他	“5年間という長期に亘る事業については、関係者(地域住民、小学校等)への定期的かつ丁寧な説明と周知が必要。”
	今後のまちづくり方策について、懇話会の確認	今後のまちづくり方策は、妥当であると認められた。
その他	特に意見なし。	